

東海財界倶楽部例会開催 元中日ドラゴンズ川又米利氏を招いて



講演を行う川又米利氏



乾杯の挨拶を行う安全警備・川崎徳弘会長

小社主催の異業種交流会「第二八回東海財界倶楽部」が「アパホテル 名古屋錦 EXCELENT」で開かれ、元中日ドラゴンズで活躍した川又米利氏による「私の野球人生」と題する講演を開催した。

川又氏は、一九七九年に中日ドラゴンズに入団、体の中心がぶれずに回転する美しいバッティングフォームが定評で代打の切り札として活躍。代打本塁打一六本のセリーグ二位タイ記録を持っている。九七年の引退後、は野球解説者やコーチなどを務め野球観戦の楽しみ方やプロ支店の解説などで、関係者からも高い評価を得ている。現在は各メディアで野球解説者として活躍中である。

「甲子園では一回戦で敗退しましたが、プロ野球目指してやってきましたから、野球部の練習が終わっても自宅での練習は続けていました。いざドラフトになりましたが、指名はされませんでした。縁がありまして中日ドラゴンズに入団することになりました。僕が入団した時は中利夫監督の時代でした。卒業式に出席することなくキャンプに参加し、がむしゃらにアピールしていました。その結果、オープン戦でも何試合か出場し、いい経験ができました。開幕一軍とはいきませんでした。五月に声がかかり、初めて一軍のベンチへ入り雰囲気味わうことができました。チームにはベテランの重鎮が多くいて、緊張していたのを今でも覚えています。(中略)二〇一九年は、お客さんとチームが一体となるチームにしたいってもらいたい。私も野球を通じて貢献できればと思いますし、また再び、現場に戻り指導をしていきたいと考えています」

講演の後、出席者と和やかに懇談した。